

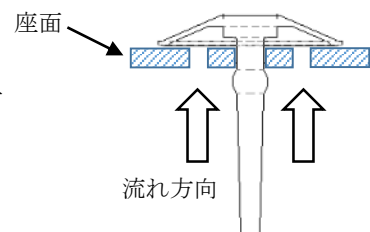
アンブレラバルブ



アンブレラバルブは、平らな座面と組み合わせて使用される、一方向のみの流れを可能とするチェックバルブです。自動車、医療、灌漑向けをはじめとする水廻り等、さまざまな場面で使用されています。

◎設計方法

平らな座面に穴を開け、バルブ装着部分と流路を確保して使用します。

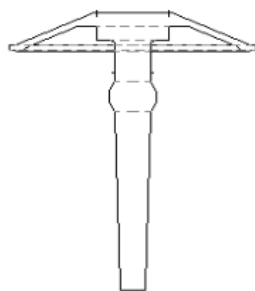


◎特徴

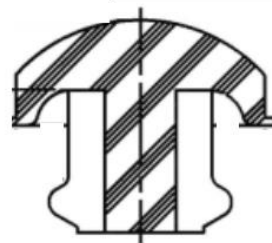
アンブレラバルブは、傘部分でシールすることで逆止性能を発揮します。

概ね、ダックビルバルブよりも多い流量能力を有するのが特徴です。

また、傘部分が斜面状になっている形状の他に、ドーム状になっている形状のものもあり(下図)、このタイプは斜面状のタイプと比較して高开弁圧かつ高耐圧能力を有します。



斜面状タイプ



ドーム状タイプ



◎開弁圧、及び流量との関係

アンブレラバルブは、一般に傘径を大きくする程、開弁圧が低く流量が多くなります。
傘径の他、材質、材質硬度、傘部分の肉厚などによっても、アンブレラバルブの開弁圧及び流量は調節が可能です。

ご参考までに、開弁圧、及び圧力 100hPa での流量のデータを示します。

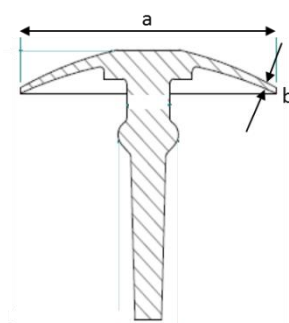


表. アンブレラバルブにおけるデータ(参考)、流体: 空気

	傘形状	傘径 a(mm)	傘肉厚 b(mm)	材質	硬度	開弁圧 hPa	リシール圧 hPa	100hPa流量 L/min
例1	ドーム状	6.22	1.270	VMQ	46	321	223	0.00
				NBR	71	823	584	0.00
例2	斜面状	6.88	0.475	FVMQ	60	29	13	39.0
例3	斜面状	10.16	0.225	FVMQ	60	5	3	95.0
				FKM	58	7	6	74.0
例4	ドーム状	11.91	1.190	EPDM	57	119	91	0.05
				NBR	70	139	63	1.0

以上の知見と弊社のノウハウを生かし、NMV はお客様のご要望に合ったアンブレラバルブの作製を、試作から量産までご協力致します。

バルブがハウジングに装着された、ハウジング品についても承ります。
お気軽にお問い合わせください。

NMV のホームページアドレスはこちら → <http://minivalve.jp>